

自立活動だより

平成29年11月発行

11月の自立活動だよりは、中学部の取組について紹介します。

今年度の中学部は、知的障害学級（以下1ブロック）に52名、肢体不自由学級（以下2ブロック）に11名（訪問生3名含む）の生徒が在籍しています。（平成29年5月1日現在）

今月号は、1ブロックと2ブロックの自立活動（時間における指導）の一部を紹介します。

自立活動には『健康の保持』『心理的な安定』『人間関係の形成』『環境の把握』『身体の動き』『コミュニケーション』の6区分とその中に26項目があります。

今回は1ブロックから『人間関係の形成』『コミュニケーション』2ブロックから『身体の動き』の取組を紹介します。

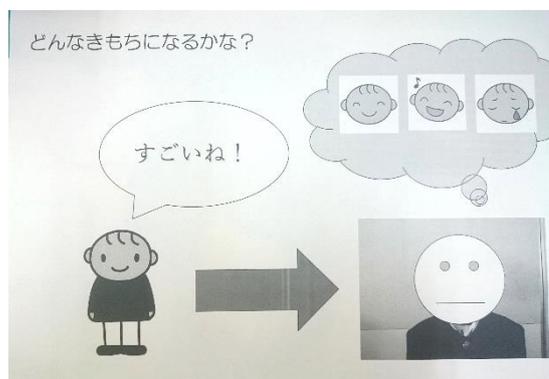
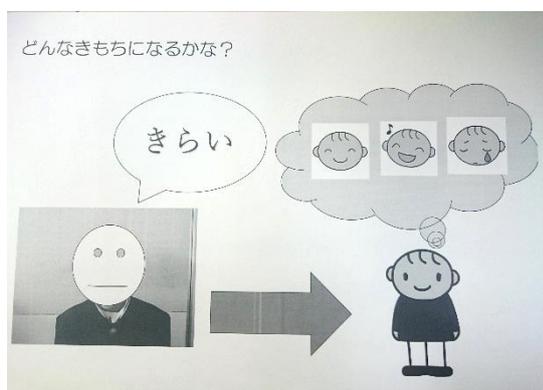
【1ブロック】

<事例1>

ねらい・・・人との適切な関わり方を知る。

区分 『人間関係の形成』

項目 （2）他者の意図や理解に関すること



自分の写真を使用し、吹き出しをつけることで気持ちのイメージを作りやすくする事ができました。

また、逆に自分が言われて嬉しい言葉を入れることで、友だちに対する言葉かけの練習にもなります。

<事例2>

ねらい・・・単語や文レベルでの発音が明瞭になる。

書いて伝える時に、正しく言葉を書いて伝えられる。

区分 『コミュニケーション』

項目 （2）言語の受容と表出に関すること

（3）言語の形成と活用に関すること





『詩の音読』と言うと国語科と思いがちですが、自立活動では

- ① 発音をはっきりと読むこと
- ② 単語のかたまりを確認しながら読むこと

を意識して進めています。

谷川俊太郎さんの詩『ぼく』は繰り返しの言葉や韻を踏んだりリズム感のある詩で読みやすいです。何度も読むうちに覚えてしまい文字を読まなくなってしまう時は新しい教材を用意しています。

【2ブロック】

2ブロックの朝の自立活動では、基本的に身体へのアプローチを行っています。ストレッチや体操を行い身体をスムーズに動くように準備し、その後個々の課題に取り組んでいます。

<事例3>

ねらい・・・立位でバランスを保つ。

バランスを保ちながら、安定した歩行を行う。

区分 『身体の動き』

項目 (1) 姿勢と運動・動作の基本的技能に関すること



朝は身体が動きにくいことが多いため、上肢や下肢などしっかりとストレッチを行ってから立位や歩行を行っています。写真の生徒はストレッチの後、両足へ均等に体重をかけバランスをとって立位を行っています。

その後は短下肢装具を履いて、校内や運動場の周りを歩いています。校内では廊下の手すりを持って、ゆっくり安定した歩行をすることができます。

